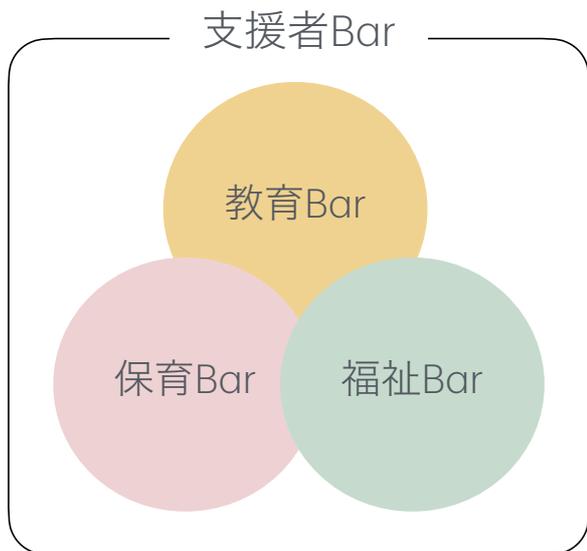




## 支援者のエンパワメント~こどもDoまんなかのまちづくり~



支援者Barは、子どもに関わる支援者の人たちをエンパワメントをするために発足するプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなくてはいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。



鬼頭大助(福祉Bar)

### 揺れた自分が立ち戻れる場所に ~共感&エンパワメント~

本人に寄り添い、チームで考え続けることが必要なこの仕事は、常に他者の価値観に揺らされます。人手不足も相まって必死に業務をこなす日々の中で心に余裕がなくなり少しずつ支援者がパワーレスになっていきます。そういった中で、定期的に福祉支援者同士がつながり、共に学び、思いや悩みを共有することで、この仕事の本質や魅力、自分が大切にしているものを再確認する時間になればと思っています！利用者支援と同じように、安心安全な空間の中で支援者も元気に！  
~終了後、お時間がある方は、お酒&ソフトドリンクタイムをご一緒にお楽しみください~



新谷紀子(保育Bar)

### 先生の実顔が、子どもたちや保護者の笑顔に ~リラックス&エンパワメント~

経験の長さにかかわらず、それぞれの立場での悩みや行き詰まりを感じたり、「これでいいのかな...」と思いつつも、忙しく日々が過ぎていってしまう支援者の方々。時には少し立ち止まり、ゆっくりとお話したり、他の先生方のお話を聴いたり。保育BARが、保育や子育て支援に関わる先生方の「第3の居場所」になれば...と思っています。  
「こどもDoまんなかのまちづくり」の為に、まずは支援者が笑顔で生き生きと。「私たちの仕事の魅力」を再発見しましょう。~終了後、お時間がある方は、お酒&ソフトドリンクタイムをご一緒にお楽しみください~



岡田悠利(教育Bar)

### 先生の居場所と教育のグラデーション ~共創&エンパワメント~

僕は、フリースクールを作るために、多くの教育関係者や子ども、不登校の親御さん、若者にヒアリングを行いました。多くの支援者が子どもへの熱い想いを持ちながらも、疲弊し、たくさんの課題を持っていたり、多くの子どもたちも生きづらさを感じる現状にジレンマを感じました。教育Barは、先生が元気になって、縦割りを超えて繋がれる「先生の第三の居場所」として、気軽に参加できる場所になりたいと考えています。そして、その先にみなさんと一緒に「本当に子どもや先生にとって最高の教育環境とは？」というテーマを楽しく議論し、社会実装を目指したいと思います。皆さんと一緒に素敵な時間を過ごし、こどもDoまんなかの教育環境を対話し一緒に作っていただければと思っています！  
~終了後、お時間がある方は、お酒&ソフトドリンクタイムをご一緒にお楽しみください~



支援者が集い、支援者がお互いにエンパワメントしていく空間のデザインをお手伝いさせていただきます♪  
支援者が支援者を支え合うことが広い意味でロールモデルとなり誰一人置いてきぼりにならない環境づくりを具現化していきたいです。(全体アドバイザー 宮崎充弘先生)

### 支援者Barの予定

★2024年度予定

8月17日(土)19:00~21:00(支援者Bar)  
12月21日(土)19:00~21:00(支援者Bar)

### 福祉Barの予定

★2024年度予定

11月9日(土)19:00~21:00(福祉Bar)  
1月11日(土)19:00~21:00(福祉Bar)  
3月8日(土)19:00~21:00(福祉Bar)

### 保育Barの予定

★2024年度予定

10月19日(土)18:00~20:00(保育Bar)  
2月15日(土)18:00~20:00(保育Bar)

### 教育Barの予定

★2024年度予定

10月25日(金)19:00~21:00(教育Bar)  
2月28日(金)19:00~21:00(教育Bar)



## 支援者BARとは



支援者BARは、子どもに関わる支援者の人たちをエンパワメントするために発足するプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなくてはいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。

その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。



福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～



教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～

## まずは自己紹介！

ワークショップデザイナーの坪倉秀基さんのコーディネートで「今、熱中していること」「今の仕事の好きなおところ」をテーマに各テーブルで自己紹介をしました。

プライベートの活動、お仕事のこと、どちらについても皆さんイキイキと話しておられる姿が印象的でした。

# 支援者BAR

News letter

vol.01/2024/8/17



## ワークショップ

支援者BAR全体アドバイザー・宮崎充弘さんから、「支援者は、公私ともにずっと誰かのために生きていることが多く、そのことによる疲れを自覚しましょう。そして、自分のための時間を持つことが重要です」というお話があり、皆さん深く共感しておられました。

そのあと、職種を超え「子どもの頃の思い出」を振り返り、その場面を共有しながら、それが子どもにとってどんな意味のある出来事だったのかを語り合いました。



宮崎さんは、大阪暁光高等学校で福祉の授業を持っておられ、多くの生徒は、将来保育士など子どもに携わる仕事を目指しています。

ここで、生徒たちに「自分に子どもが居ないからと言って子どもと関わるのが難しいということはない。自分が子どもだった頃のことを覚えているなら大丈夫」というメッセージを伝えていたというお話もありました。

子どもだった頃の自分は、大人になった今も、ずっと自分の中に居続けているんだと改めて感じる事ができました。

## 宮崎さんのもう一つの顔は…

ワークショップが終わった後、宮崎さんはバーテンダーに！  
そのまま交流会となり、お酒を片手に、楽しい夜は更けていきました…



### [今後の予定] ※参加は招待制です

- 10/19(土) 保育BAR ●10/31(木) 教育BAR
- 11/ 9(土) 福祉BAR <詳細は公式LINEにて>

### [運営] かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



## 保育BARとは

保育BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における保育分野の分科会のようなものです。

支援者BARは、子どもに関わる支援者たちをエンパワメントするためのプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかななくてはいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がりが合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## さまざまな職種の方が集いました

保育士、行政の福祉部局の方など、組織や業種を超えた方々にお越しいただき、まずは自己紹介からスタート。

「私は\_\_\_\_\_」というフレーズに続く言葉を、思いつく限り書き出し、お互いに見せ合いっこしながら自由におしゃべり。仕事の話だけでなく、自分の性格や趣味など幅広い話題で盛り上がりました！

# 保育BAR News letter

vol.02/2024/10/19



## "学びあい 繋がりあい 気づきあい"

進行役の新谷紀子さんから、「保育BARのテーマは"学びあい 繋がりあい 気づきあい"です。記念すべき第1回では、皆さんがこのテーマをどのように受け止めているかお聞きし、ここが皆さんにとってより有意義な場所になるためのヒントにしたい」ということで、各テーブルで意見を出し合いました。

【学びあい】= 保育の質の向上につながる、保護者や子どもたちへの支援の幅が広がっていく、新しい価値観との出会いとなる、1+1=2以上のものが得られる、個人のスキルアップを職場全体に広げたい、ひとりで学ぶよりも楽しい・・・etc.

【繋がりあい】= 子どもたちの未来を考える人同士の出会い、ひとりの力ではできな

くても繋がりがあればできることもある、他の機関のことを知り視野が広がる、自分の引き出しが増える、河内長野の良いところ（強み）を知ることにつながる、地域のことを知る機会になる、繋がりがあえたら役割分担ができる、新しい可能性に気づける・・・etc.

【気づきあい】= 思い込みから抜け出せる、それぞれの立場を知り支援者同士が支え合える、モチベーションアップにつながる、気づきが波及する、様々な価値観を知り理解し合える、これからの支援につながる、色々な価値観に気づき共感につながる・・・etc.

学びあい・繋がりあい・気づきあうことが、「子どもをDoまんなかに大人もまちなも生き生きと影響し合える社会作りにつながる」ということを参加者みんなで感じ合えるワークとなりました。

ワークが終わった後は、千早赤阪村産の野菜などを使って作られた「野菜の思考」(梶谷有基さん)の美味しいおにぎり&思い思いの飲み物をお供に、こころゆくまでご歓談。話は尽きることなく、夜が更けていきました。



### 【今後の予定】 ※参加は招待制です

- 10/31(木) 教育BAR ●11/9(土) 福祉BAR
- 12/21(土) 支援者BAR ●2/15(土) 保育BAR

<詳細は公式LINEにて>

### 【運営】 かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地: 大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ: nukumori.hub@gmail.com



# 教育BARとは

教育BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における教育分野の分科会のようなものです。

子どもの教育という「未来(=子供)を支える仕事」に関わる多種多様な支援者たちが集い、「支援者のエンパワメント」と「縦割りを超え教えた“共創”」をコンセプトに実施しているプロジェクトです。

少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなければいけない子どもたち。そして彼らへに強い想いを持つ支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、

子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

## 支援者BAR

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## 今回ご参加いただいた みなさんは・・・

公立小学校の先生、支援級の先生、高校の先生、フリースクールのスタッフ、公認心理師、元教師で現幼稚園の園長先生、児童の障害福祉スタッフ、探求学習塾の運営者など、多種多様な職種の方が集まりました。久しぶりの再会から、新しい出会いでつながりあう人たちなど、イベント終了後の、交流会にもたくさん参加していただきました。

# 教育BAR #1 ～前編～

## News letter

vol.03/2024/10/31



## 【ビジョンづくり①】“自分たちらしさとは”

今回の進行役は、“想いを形にする場作りの専門家”であるワークショップデザイナーの坪倉さん（通称:つぼち）。10/31、11/22の2回のイベント構成で教育BarのVisionを参加者全員で共創するワークを構想。今回は前編として“自分たちらしさの探求”のワークを実施しました。まず初めに“自分たち”とはどこまでの範囲かというテーマについて各グループで考えました。学校やフリースクールはもちろん、行政等の公的機関や、経済団体、幼稚園、民間教育団体、医者、議員、心理士、まちづくり関係者、放デイ、相談員など様々な意見が。“子どもの教育”というカテゴリーでここまでの関係先が一つの方向に進むと、どんな未来が待っているのだろうかというワクワクの中、ワークショップが進んでいきました。

次に「教育に携わる仕事をする中で大切にしていること」をテーマに語り合いました。深い内容の問いにも関わらず、皆さんからさまざまな意見が出ました。その後、それぞれの“これだけは！”という一文を選んだうえで、全員で共通して大切にしたいと考えることをまとめていきました。普段は別々の場所や角度で子どもに向き合う人たちが、一つのチームとして「自分たちらしさ」に向き合う姿は、未来の教育の姿そのもののような…。最終的に皆さんと紡いだ言葉は、「みんなの“やってみようという気持ち”に本気で伴走」「教育という一つのチーム」「自分と相手を大切にする人」「大人も子どもも共に成長」というキーワードでした。教育の素晴らしい未来を感じ、ワークショップが終了。

その後、美味しいおにぎり&お味噌汁とドリンクをお供に、楽しい交流会を過ごしました。

### 【当日スケジュール】

- ・かわちラボについて
- ・支援者Barについて
- ・教育Barについて
- ・自己紹介ワーク
- ・メインワークショップ
- ・交流会（たまりBar）



### 【今後の予定】 ※参加は招待制です

- 11/ 9(金) 福祉BAR ●11/22(金) 教育BAR
- 12/21(土) 支援者BAR ●2/15(土) 保育BAR

<詳細は公式LINEにて>

### 【運営】かわちラボ（NPO法人ぬくもり）

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



# 福祉BARとは

福祉BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における福祉分野の分科会のようなものです。

支援者BARは、子どもに関わる支援者たちをエンパワメントするためのプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなければいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## 支援者BAR

## 障がい福祉および児童福祉での多職種が集まりました

経営者や管理者・看護師などの現場スタッフ・事務員など、あらゆる職種の方にお集まりいただきました。

今回は、各テーブルに同じ職種の方が席についていただくようにし、まずは自己紹介。

職場のことはもちろん自分の性格や趣味など幅広い話題で盛り上がりました！

# 福祉BAR News letter

vol.04/2024/11/09



## ここが"共感とエンパワメントの場所"となるには

進行役の鬼頭大助から、福祉業界の現状と課題についての説明があり、その中で「利用者（子どもたち）のために…と一生懸命がんばる支援者ほどしんどくってしまう現状があるので、利用者だけでなく支援者にもエンパワメントが必要」という話がありました。

また、この場での「支援者のエンパワメントがよい支援に繋がりを、利用者の未来を創る」ということもみんなで確認しました。

そのあと、各テーブルで「福祉BARが"また明日からがんばろう"と思える場所になるために必要なものとは」というテーマについて意見を出し合いました。

各テーブルで取りまとめられた意見にはこのようなものがありました。

- 誰からも否定されることなく認めあえる
- 悩みへのアドバイスがもらえる
- 「助けて」が気軽に言える雰囲気
- 職場内ではなかなか共感してもらえない悩みなどを気軽に話せる
- 各事業所の工夫を知ったり、見学に行ったりできる
- 「困りごと」と「得意なこと」のマッチングの場
- 趣味の話も含めてリラックスして楽しめる
- 新しい風を取り込み、視野が広がる など

福祉BARがこんな場所になったらいいな、という思いは、ひいては「各職場においても同じような要素が必要である」ということを感じ合えるワークとなりました。



ワークショップの後は、オンキッチンのカレーライスやおいしいお酒を片手に、話し足りなかったことについてもゆっくりとお話しいただける時間となりました。

### 【今後の予定】 ※参加は招待制です

- 11/22(金) 教育BAR ●12/21(土) 支援者BAR
- 1/11(土) 福祉BAR ●2/15(土) 保育BAR

<詳細は公式LINEにて>

### 【運営】 かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



# 教育BARとは

教育BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における教育分野の分科会のようなものです。

子どもの教育という「未来(=子供)を支える仕事」に関わる多種多様な支援者たちが集い、「支援者のエンパワメント」と「縦割りを超越教えた“共創”」をコンセプトに実施しているプロジェクトです。

少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかななくてはならない子どもたち。そして彼らへに強い思いを持つ支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超越して繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共創×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## 今回ご参加いただいたみなさんは・・・

公立小学校の先生、支援級の先生、高校の先生、フリースクールのスタッフ、公認心理師、児童の障害福祉スタッフ、探求学習塾の運営者など、多種多様な職種の方が集まりました。久しぶりの再会から、新しい出会いでつながりあう人たちなど、イベント終了後の、交流会にもたくさん参加していただきました。

# 教育BAR #1 ～後編～

## News letter

vol.05/2024/11/22



## 【ビジョンづくり②】“教育Barの役割”

今回の進行役も、“想いを形にする場作りの専門家”であるワークショップデザイナーのつぼちさん。10/31、11/22の2回のイベント構成で教育BarのVisionを参加者全員で共創するワークを実施。今回は後編。全編では“自分たちらしさの探求”のワーク(詳しくはVol3)を実施し、「みんなの“やってみようという気持ち”に本気で伴走」「教育という一つのチーム」「自分と相手を大切に人」「大人も子どもも共に成長」という自分たちらしさが誕生。そして今回は、“未来の社会像から考える教育Barの役割”というテーマでワークを実施。まず初めに「社会の良い傾向、悪い傾向など教育に関する未来」を4つの班で予想し、対話しました。「多様性」や「格差」、「教育機関同士の連携」など様々な意見が飛び交い、各グループの未来像のイメージを膨らませました。

次に「みんなで想像した未来でどんな課題が生まれるか」について議論しその未来の中で教育Barという多種多様な教育環境で働く人たちが“共創”し、“エンパワメント”しあうこの場所の「役割」についても議論を深めました。時間を超越してアイデアを出し合う様子。普段は違う環境で働くメンバーが同じ問いについて、互いを否定することなく、「子どもDoまんなか」に向けてまさに「共創」しあう姿が見られました。その姿勢や様子自体が、教育Barの役割であり、未来のあるべき姿のような…。そして最後に各班の想いを共有しあい、その日は終了しました。そしてみなさんで紡いだ言葉をまとめて、教育Barのビジョンを作成中です。乞うご期待。教育Barはこれからも続きます。子どもDoまんなかのまちに向けて。

### 【当日スケジュール】

- ・ 支援者Barについて
- ・ 教育Barについて
- ・ 自己紹介ワーク
- ・ メインワークショップ
- ・ 交流会 (たまりBar)  
(カレー/駄菓子/ドリンク)



### 【今後の予定】 ※参加は招待制です

- 12/21(土) 支援者BAR ●2/15(土) 保育BAR
- 1/11(土) 福祉BAR ●2/28(土) 教育BAR

<詳細は公式LINEにて>

### 【運営】 かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地: 大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ: nukumori.hub@gmail.com



## 支援者BARとは



支援者BARは、子どもに関わる支援者の人たちをエンパワメントするために発足するプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなくてはいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。

その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。



福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～



教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～

## まずは自己紹介！

ワークショップデザイナーの坪倉秀基さんのコーディネートで「自分の仕事の好きなおとこ」「仕事をする上でこだわっていること」「挑戦したいこと」をテーマに各テーブルで自己紹介をしました。

福祉・保育・教育の各分野から集まった皆さんが各テーブルで交流し、皆さんの前向きな気持ちが行き交う素敵な時間となりました。

# 支援者BAR News letter

vol.06/2024/12/21



## ワークショップ

引き続き坪倉さんより、【このテーブルに着いているメンバーで「やってみようこと・出来そうなこと」について意見を出しあってみよう】というテーマが出されました。

かわちラボは「地域のハブ拠点（結節点）」「地域のまちづくりラボ（実験場）」としての役割も担っていきたくと考えています。

先ほどの自己紹介を踏まえて、この場所があればこんなことが出来るかも…と各自が思いを馳せて、さまざまなアイデアが出ました。

★子どもに関する事業について、かわちラボで本を執筆・発行し、その売り上げを子どもたちに還元する

★放課後に小学校のグラウンドを活用し、キッチンカーでお店をしたり、キャンプファイヤーをする

★子どもたちによるウーバーイーツ配達職業体験

★障がいの有無や年齢に関わらず子どもたちが交流できる遊びの場

★支援者を対象とした性教育を学ぶワークショップ

このようなアイデアが発表され、一部は実現に向けて動き出している…かもしれません。乞うご期待！

いかという話がありました。

確かに過去の振り返りも大切ですが、これからの関係性やつながり方に目を向けるほうが発想の転換に繋がります。

そのあとは、交流会となり美味しいフードとドリンクをお供に、楽しい夜は更けていきました。

## 宮崎先生からの総括

支援者BAR全体アドバイザー・宮崎充弘さんから、新しい行動を起こす発想として「課題解決型／夢の実現のための未来思考型」があり、後者の方が子どもたちも巻き込みやすいのではな



**[今後の予定] ※参加は招待制です**

- 2/15(土) 保育BAR ●2/28(金) 教育BAR
- 3/8(土) 福祉BAR

<詳細は公式LINEにて>

**[運営] かわちラボ (NPO法人ぬくもり)**

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



# 福祉BARとは

福祉BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における福祉分野の分科会のようなものです。

支援者BARは、子どもに関わる支援者たちをエンパワメントするためのプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなければいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がり合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## 障がい福祉および児童福祉に携わる支援者が集まりました

経営者や管理者、看護師などの現場スタッフの方などにお越しいただきました。

今回は、各テーブルを経験年数ごとに分けて席についていただくようにし、いつも通り自己紹介。

この仕事を志したきっかけやハマっているいることなど趣味なども含めた幅広い話題で盛り上がりました。

# 福祉BAR News letter

vol.07/2025/1/11



進行役の鬼頭より、「価値観ワーク」と題して”仕事をしていて感動したり、嬉しくなる時はどんな時ですか？”反対に”仕事をしていて困ったり、不安になったりする時はどんな時ですか？”という問いかけがありました。

そして、それぞれのエピソードに対して”それは何を大切にしたいと思っているからですか？”という質問が加えられました。

各自、普段の仕事を振り返りながら、グループごとに発表しあいました。

お互いの話を聞きながら、普段自分が感じていることと共通点を見いだしたり、新しい視点を見つけたり。このワークを通して、「自分自身がどんな人なのか」をさらに深掘りすることが出来ました。

福祉職場では、日々の忙しさに追われてしまい、なかなか自分の深い気持ちを省みる機会はありません。

鬼頭より「スタッフひとりひとりの考え方・想い・背景がそれぞれにある。各職場内でも、今日と同じようなワークを通して、その違いや共通点を共有してもらえれば」という提案がありました。



ワークショップの後は、オンキッテンの牛すじスパイスカレーや思い思いの飲み物をお供に、引き続きゆったりとした時間を過ごしました。



【今後の予定】 ※参加は招待制です

- 2/15(土) 保育BAR ●2/28(金) 教育BAR
- 3/8(土) 福祉BAR <詳細は公式LINEにて>

【運営】 かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



# 保育BARとは

保育BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における保育分野の分科会のようなものです。

支援者BARは、子どもに関わる支援者たちをエンパワメントするためのプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなければいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。



その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がりが合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻れる場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共感×エンパワメント～



## 保育・子育て支援に携わる 13名の参加者が集いました

昨年11月に開催された第1回の保育BARに続いて、今回はこども園、児童発達支援センター、行政の児童福祉部局など、組織や業種を超えた方々にお越しいただきました。

自己紹介コーナーでは「私の職場の自慢・魅力・強み」について紹介し合いました。「こんな仕組みがある」「頼りになる人材（専門職）がいる」「異業種連携できる」「素晴らしい自然がある」などが紹介され、自分の職場の強みを改めて見つめ直すことや、他の職場のことを知ることができて良かったとの感想がありました。

# 保育BAR News letter

vol.08/2025/2/15



## "子ども基本法"について考えてみよう

進行役の新谷紀子さんから提案された今回のグループワークのテーマは「子ども基本法・基本理念⑥」の「“家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会”とは、どんな社会だろう？」です。

参加者の皆さんからは、「子育てしやすい職場環境がある社会」「地域とのつながりがある社会」「教育は全て無償化・経済的な余裕がある社会」「お互いを認め合える家族がいる」「助け合える・支え合える社会」「大人も楽しく生きられる社会」など…たくさんの意見が出ました。

「では、そのような社会になるために、私たち保育や子育てに関わる支援者にできることって何だろう？」ということを考えてみました。

「各機関が役割分担し、ワンチームとして連携すること」「保護者と繋がること・次の支援者に繋げること」「サポートブックは一との活用」「共感」「家族丸ごと支援する」「支援者も心身が健康でありたい」などの意見が出ました。



＜最後にひとこと＞のコーナーでは、「この場に参加して、基本に立ち返ることができた」「明日へのパワーをもらえた」「他機関のことを知ること、視野が広がった」「ご縁に感謝したい」「色々な価値観に触れることができた」「温かい気持ちになれた」など…たくさんの感想をお聞きすることができました。

これからも「学び合い」「気づき合い」「つながりあい」を大切に、「こどもをDoまんなかにも、大人も まちも 生き生きと」。保育BARの意義をみんなで再確認できる場となりました。

ワーク終了後は、千早赤阪村産の野菜などを使って作られた「野菜の思考」（梶谷有基さん）の美味しいおにぎり＆おでんが登場！「人材育成について」の話題で盛り上がり、心も身体も温まるKUTSUROGIの場（BAR）となりました。



【今後の予定】 ※参加は招待制です

●3/29(土)福祉BAR

＜R7年4月以降の日程など、詳細は公式LINEにて＞

【運営】 かわちラボ（NPO法人めくもり）

所在地： 大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ： nukumori.hub@gmail.com



# 教育Bar Vision

教育に関わる多様な環境で働く人と紡いだビジョン。



## 実施したい、受けた 理想の教育を考える

経営者や小学校の先生、フリースクールのスタッフ、心理師、中学の先生、高校の先生などの多様な教育関係者がお越しいただきました。

そして、この教育Bar第3回では、第1、2回でみなさんと実施したビジョンづくりをビジュアル化したものの発表も実施。皆さんと紡いだ、言葉やイメージがビジョンになり絵になりました！

# 教育BAR#3 News letter

vol.09/2025/2/28



はじめに、岡田より「ビジョンの説明」を実施したのち、教育Barではお馴染みのワークショップデザイナーつぼちさんの進行でスタート。「教育Barのビジョンについての対話」ということで、出来上がったこの絵を見て、共感や疑問点などの対話しました。共感をする人が多く、垣根を超えて、互いに教育の未来をなんとかしようと思う人たちの声がたくさんありました。次に「今の教育の課題やしがらみ」について意見を出し合いました。そこでは、それぞれの教育機関の大変な部分や課題、そして見えにくいしがらみなど、

たくさんの意見が飛び交いました。最後に、「教育の未来について～しがらみや課題がない場合、自分がしたい、受けた教育とは～」というテーマで話しました。そこでは多くの面白いアイデアがたくさん出てきました。以下出てきたアイデアの中の一部抜粋です。

- ①大人のしくじり授業
- ②先生と子どもの無人島生活
- ③その日やることを、子どもの顔を見て決められる。
- ④自己選択で、“地域連携”をしながら“本物”から学べる教育。
- ⑤”課題解決”を大人の介入は減らし自分たちで話し合っ解決していく
- ⑥たまには何もなくていいよ～という余白があるカリキュラム
- ⑦学校とフリースクールの共同マルシェ

アイデアを発表している皆様が本当に輝いており、その姿を見て、何より支援者の皆さんが、“楽しそう！”“やってみたい”と思うことを、実現できることが子どもの未来にもつながると感じました。



ワークショップの後は、オンキッテンの牛すじスパイスカレーや思い思いの飲み物をお供に、引き続きゆったりとした時間を過ごしました。



【今後の予定】 ※参加は招待制です

●3/29福祉Bar 次年度の日程については、後日また公式ラインにてアップ<詳細は公式LINEにて>

【運営】 かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com



# 福祉BARとは

福祉BARは、かわちラボが主催する「支援者BAR」における福祉分野の分科会のようなものです。

支援者BARは、子どもに関わる支援者たちをエンパワメントするためのプロジェクトです。少子高齢化が進む日本で、より一層大切にしていかなければいけない子どもたち。そして、「子どもたちの未来を明るく希望に溢れたものにしていきたい」という熱い思いを持って、日々子ども達に関わる支援者。



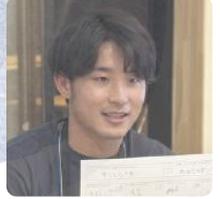
その支援者たちが「子ども」という軸で集い、縦割りを超えて繋がりが合い、『こどもDoまんなかのまちづくり』を更に加速させていくことを目指します。

福祉Bar 鬼頭大助  
揺れた自分が立ち戻る場所に  
～共感×エンパワメント～



保育Bar 新谷紀子  
先生の笑顔が、  
子どもたちや保護者の笑顔に  
～リラックス×エンパワメント～

教育Bar 岡田悠利  
先生の居場所と教育のグラデーション  
～共創×エンパワメント～



## 障がい福祉に携わる 支援者が集まりました

今回は、主に障害福祉事業で支援をされている方々（自立訓練・就労移行支援事業、放課後等デイサービス事業、生活介護事業）にお越しいただきました。

自己紹介を兼ねたワークとして「所属、仕事内容・福祉歴・今年度頑張ったこと」を発表しあいました。



今回のテーマは「福祉観・人間観」ということで、まずは【社会福祉法人むそう】さんの実践報告動画『ふわりとついで』という動画をみんなで鑑賞し、グループに分かれて「印象的だったところ」「心が動いたところ」「自分が大切にしているものと重なったところ」について感想をシェアしました。

続いて、グループごとに「支援を通じて障がい児者と真剣に向き合う中で、自分自身が”もらっているなあ”と思うもの」例えば、気づき・学び、成長・変化、幸せ感、豊かさ、やりがいなどについて意見交換しました。

以下、参加者の感想の一部を紹介します。

- 「内的生産性」という言葉が心に響いた
- どんなに障害があっても人に与えるプラスの影響がある、ということを確認できた
- 「保護者にもノーマライゼーションがある」という言葉にあらためて納得した
- 支援者の頭の中が広がらなければ、障がい児者の可能性が広がらないと思った
- 自分たちも、たくさん利用者さんから豊かなものもらっていることを思い出した
- 自分のやるべきことがはっきり見えた



ワークショップの後は、オンキョウの牛すじスパイスカレーや思いの飲み物をお供に、引き続きゆったりとした時間を過ごしました。



**[今後の予定]** ※参加は招待制です  
次年度の日程については  
今後、公式LINEにアップいたします。

**[運営]** かわちラボ (NPO法人ぬくもり)

所在地：大阪府河内長野市本町9-15  
問い合わせ：nukumori.hub@gmail.com

